

自民党衆院議員（愛媛2区）の村上誠一郎元行政改革担当相が12日、自民政策に批判的な阿部悦子県議の要請を受け、今治と松山両市で講演した。特定秘密保護法に関し「ちゃんとほんんな答弁で重要な法案を通すようなことは絶対にやってはいけない」と政府・自民党の対応を批判した。

村上氏は「前回衆院閣府特命担当相と谷

村上衆院議員

阿部
県議
要請
今治
・松山
講演

原発・秘密法対応で

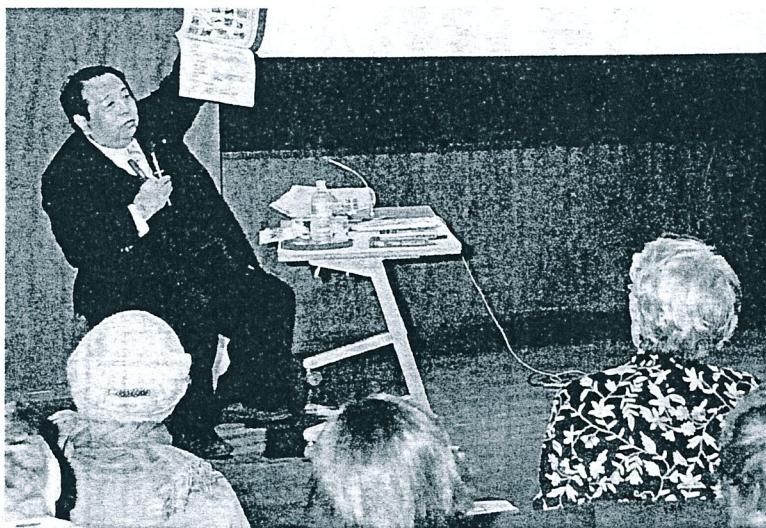
政府・自民党を批判

める村上氏は、原発再稼働に対し事故の原因と指摘した。

選で自民は6割の議席を取ったが、必ず振り戻しがある。今、党本部、官邸は首相にブレーキをかける人がいらない。一人でも多く現状を知つてもらい判断してもらうため、「あらゆる角度から質問に答えられておらず、法案として未成

熟。党内で再考させるのが本来の自民党だ」とし、議論不足を嘆いた。

また党で東京電力福島第1原発事故の究明に關する小委員長を務



特定秘密保護法の審議に関し政府・自民党本部の対応を批判する村上誠一郎元行政改革担当相=12日、松山市堀之内(撮影・和泉太)

議会の秘密監視視察